

第2次東金市総合交通計画（素案）【平成28年度～平成32年度】

～ 豊かな環境と便利さを兼ね備え、人が集まるまち「東金」～

概要編

1. 東金市における公共交通をとりまく課題と基本方針

項目	現状	課題
公共交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 東金駅を中心とした都市・地域間公共交通 乗合タクシーによる公共交通不便地域の解消 東千葉メディカルセンターへの移動手段確保 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通サービスの確保 <ul style="list-style-type: none"> 自動車等を持たない市民も安心して生活できる移動環境の確保が必要(乗合タクシーの利用促進・ユニバーサルデザイン型車両の活用)
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少と少子高齢化の進展 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の維持・増加による公共交通の発展 <ul style="list-style-type: none"> 人口減少のなかで、公共交通の利便性を確保するためには利用者数の維持・増加が必要 役割(幹線・支線等)を明確にしてわかりやすい公共交通を構築することが必要 自動車から公共交通への転換を促進していくことが必要
公共交通利用者数	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道は横ばい、高速バスは増加傾向 路線バス、一般タクシーは減少傾向 市内循環バスは増加と減少の繰り返し 乗合タクシーは増加傾向(予約集中時には応援車による対応) 	
移動手段(分担率)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車利用が顕著、その他は減少傾向 医療機関等の送迎車両の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な運行による行政負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> 地域・交通事業者・行政が連携して持続可能な公共交通を確保することが必要 地域内生活交通について評価指標を構築することが必要
基本計画関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 東金市第3次総合計画第4期基本計画 東金市まち・ひと・しごと創生 総合戦略 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりとの連携 <ul style="list-style-type: none"> 交通結節点の整備・強化が必要 産業振興施策や健康増進施策との連携が必要
市民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートでは最も満足度が低い施策 鉄道、バスは「運行本数増便」の要望が多い 市内循環バス、乗合タクシーは「市外運行」「休日運行」の要望が多い 	

基本理念
人・地域の暮らしを支え、便利で利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークの構築

- 基本方針**
- 機能・役割を明確化した地域内の公共交通ネットワークの構築
 - 道路網の強みを活かした交通結節点の整備と鉄道駅における交通結節点の強化
 - 公共交通を利用しやすくするための環境づくりの促進
 - 地域内の既存公共交通システムの活用による移動手段の確保
 - 地域・交通事業者・行政との連携による持続可能な公共交通を支える仕組みの構築

2. 計画の対象区域と期間

【計画区域】 東金市全域

【計画期間】	計画期	第1次	第2次
策定計画		東金市総合交通計画 (地域公共交通総合連携計画)	第2次東金市総合交通計画 (地域公共交通網形成計画)
計画期間		平成24年度～平成26年度	平成28年度～平成32年度 (第4期基本計画と同期間)

3. 計画の目標

○将来のまちづくりを支えるための公共交通サービスの提供
人が集まるまちをつくるには、誰もが安心して生活できる移動環境を確保し、外出の機会を増やしていくことが必要(利用促進・高齢者等の移動支援・交流につながる公共交通サービス)

○公共交通サービス水準の向上
公共交通利用者数の維持・増加が必要
(効率的な公共交通ネットワーク・運行方法の検討)

基本方針	評価指標	評価指標の定義	現状値	目標値(平成32年度)
全般	公共交通サービスへの満足度	市民アンケートにおいて満足であると回答された方の割合	38.4% (平成27年度)	増加
① ③ ④	移動環境の確保	市民アンケートにおいて外出時の移動手段に困っていると回答された方の割合	22.4% (平成27年度)	減少
② ③ ⑤	まちづくりとの連携	商業施設や観光施設等と連携した利用促進の取り組みの件数	—	年1件以上
⑤	市民ニーズの把握	意見交換会・シンポジウム・アンケート調査等の実施の回数	—	年1回以上
全般	利用者数 行政負担率	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道の利用者数 高速バスの利用者数 路線バスの利用者数 一般タクシーの利用者数 市内循環バス(福岡路線)の利用者数 市内循環バス(豊成路線)の利用者数 乗合タクシーの利用者数 ※平成26年度利用者数を100とする	100 100 100 100 100 100 100	100 増加 100 100 120 120 120
		<ul style="list-style-type: none"> 市内循環バス(福岡路線)の行政負担率 市内循環バス(豊成路線)の行政負担率 乗合タクシーの行政負担率 ※()内は車両償却費を含めた補正值	77.4% (80.2%) 82.6% (85.1%) 60.2% (—)	65.0%以下 74.7%以下 減少

4. 事業の概要

No.	事業項目	事業概要
1	鉄道の利便性向上	要望活動、求名駅駐車場事業、東金駅及び求名駅の橋上化等の検討
2	高速バスの利便性向上	通勤等のためのさらなる路線確保と増便の検討
3 4 5	路線バス・市内循環バス・乗合タクシーの利便性向上	利用者数の維持・増加のための運行方法の改善 市内循環バス、乗合タクシーについては「市外運行」「休日運行」の検討 地域内の公共交通ネットワークの構築、行政負担率の改善
6	交通結節点の整備・強化	道路網の強みを活かしたパークアンドライド型バスターミナルの整備の検討
7	既存交通システムの活用	医療機関等の送迎車両への混乗の検討
8	利用促進施策の強化	広報活動、商業施設等との連携
9	地域・交通事業者との連携	分科会の設置、意見交換会等の実施